

神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

— インフォメーション —

【1】トピックス

- (1) 神戸大学校友会デトロイト支部同窓会のご報告

【2】お知らせ

- (1) 神戸大発スタートアップ 「光オンデマンドケミカル(株)」を創業！
下水・海水・空気を原料とする光ものづくり
- (2) 2024年度「神戸大学 DX リカレント 教育事業」のご案内
- (3) 神戸大学 グローバル・ピア・サポーターのためのワークショップを開催
- (4) 「KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD オープニングセレモニー」が開催
- (5) 国際文化科学研究科が北海道ニセコ町と地域連携協定を締結
- (6) 日本学術振興会学術システム研究センターより感謝状が贈呈
- (7) 神戸大学起業部の学生が NEDO NEP 開拓コースに採択
- (8) ダッカ大学から訪問
- (9) リガ工科大学から訪問
- (10) 神戸大学 学生広報誌「door」Vol.01 を発行

【3】研究ニュース

- (1) “強靱性”と“生分解性”を両立した次世代型ポリ乳酸の大量生産に成功
- (2) 植物の有性生殖システムの進化の痕跡を示す鍵因子の発見
- (3) 人社会から自然環境へ薬剤耐性菌が拡散の可能性
- (4) ワイドな電圧変動にも対応できる超高効率な双方向直流電力変換装置を開発
- (5) 皮膚病の要因となるエピゲノム異常を初めて発見
- (6) リュウグウ試料に初期太陽系の新しい磁気記録媒体を発見
- (7) 分子の「塊」が溶連菌の感染を抑制することを発見
- (8) SARS-CoV-2 の変異株に広く有効な新規中和抗体の発見と抗原エピトープの同定

【4】受賞・受章

- (1) 第4回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 (SDGs 岩佐賞) 受賞
- (2) 令和6年春の叙勲受章者を発表
- (3) 令和6年兵庫県功労者表彰を受賞

【5】フィーチャー

- (1) 新設のシステム情報学部 何を目指すか
- (2) 新しい医療機器の開発を目指す
- (3) 大学発スタートアップを積極支援
- (4) 五百旗頭真・名誉教授の功績を振り返る

【6】インタビュー

- (1) ダンスの世界で大きな夢に向かって
上橋勘弥さん (国際人間科学部3年)
- (2) 留学生の就職を支援し、グローバル人材を育成
大学院農学研究科 池村彰子特命講師

【7】イベント等情報

- (1) 神戸大学人の集い
- (2) その他のイベント情報

【1】トピックス

- (1) 神戸大学校友会デトロイト支部同窓会のご報告
日時：2024年4月28日(日)
場所：Mitchell's Fish Market, Livonia, Michigan

Michigan州郊外は、日本の都心部の生活環境とは比較にならないほど豊富な樹木が一斉に花を咲かせると共に、道路工事も広範囲で始まります。そのため、あちこちで迂回を強いられ、車社会であるために、移動時間が読めない季節になります。今年も同様です。

今回も偶然、新たに「発見された」横山氏と松田氏のお二人が参加され、全員の自己紹介を兼ねた懇親会を開きました。Michiganに駐在される前に、横山氏は上海、香港、Californiaで、松田氏はSingaporeでのASEAN市場担当

など、それぞれ長年の駐在経験を経て来られ、2月に同窓会デビューされた弘中氏がイタリア、ドイツでの長年の経験をお持ちであることと合わせ、欧米亜諸国に駐在経験豊富な1990年代の卒業生が増えました。食生活については、以前の駐在地のほうが恵まれていたというのは異口同音。

また、横山氏は、弘中氏と職場が同じ建物内、宮脇氏と横山氏は住居が同じ地区で子供たちが同じ小学校に通うなど、会って初めてわかることができました。松田氏は赴任に合わせて、車購入のために、日本から資金を米国に送金して受け取ると、「えっ、たった、これだけ？」という悲しい驚きを経験されたとのこと。

その他、創立120周年記念募金寄付金の集金を進めたほか、当地の家庭菜園で栽培されたニラのおすそ分けがありました。

次回は、昨年一度開いた一橋大学との合同食事会とする予定です。

卒業生・現役生・留学生を問わず、Detroitを訪問される機会がありましたら、大歓迎いたしますので、ぜひご連絡ください。

参加者：宮脇 佑輔（2010 工）

弘中 研（1995 経済）

松田 徹（1993 経済）

横山 渉（1990 経営）

中村 久爾子（1982 法）

山田 守（1982 経営）

（中村・山田記）



【2】お知らせ

(1) 神戸大発スタートアップ「光オンデマンドケミカル(株)」を創業！

下水・海水・空気を原料とする光ものづくり

神戸大学大学院理学研究科の津田明彦准教授が、光オンデマンドケミカル株式会社を、本年4月1日に創業しました。同社では、神戸大学大学院理学研究科・津田研究室で生まれた科学と技術による社会貢献を目指します。下水・海水・空気を原料として、光で化学品（医薬品原料やポリマーなど）をつくる「光ものづくり」で、カーボンニュートラルおよびSDGsに貢献します。国や自治体、企業や金融機関、大学、および科学技術振興機構(JST)や新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)などと連携し、オールジャパン体制で、産学官金コンソーシアムによる研究開発と事業展開を行います。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240408-65212/>)

(2) 2024年度「神戸大学 DX リカレント 教育事業」のご案内

神戸大学は、文部科学省「令和3年度DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」「令和4年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択され、数理・データサイエンスセンター（CMDS）を中心として「神戸大学DXリカレント教育プログラム」を開発・実施してきました。

この度、2024年度の事業として「DX基礎講座」「DX応用講座」「課題解決型PBL」の3つの講座を開講いたします。技術系部署に限らず、経営層、事務

系各部署でデータサイエンス・AI を使って組織内の DX 推進を担う人材を育成することを目指します。データサイエンス・AI の初学者から経験者まで、無理なく段階的に学んでいただけるプログラムになっています。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240409-65218/>)

(3) 神戸大学 グローバル・ピア・サポーターのためのワークショップを開催

2月16日、神戸大学 グローバル・ピア・サポーターのためのワークショップを開催しました。

令和4(2022)年度、神戸大学大学教育推進機構内に新たに設置された異分野共創型教育開発センターの重点課題として「国際共修事業」を設定し、神戸大学内における国際／多文化間共修による教育機会の開発を行っています。全学における正課・正課外での国際／多文化間共修の基盤作りと教育機会のさらなる拡充を目指し、神戸大学で国際学生（受入留学生）への正課外での学修や生活サポートを行う学生グループやチューターを対象として、日頃の自分たちの活動の振り返りと今後の活動計画を様々な視点から考えるため、当企画を実施しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

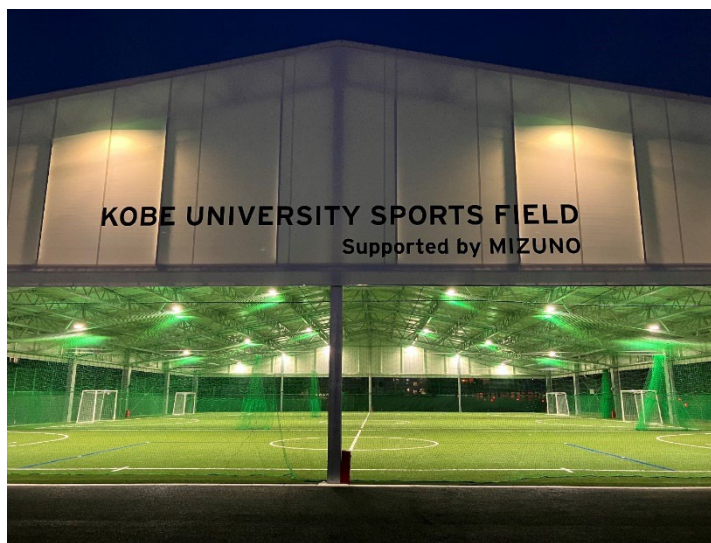
(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240411-65230/>)

(4) 「KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD オープニングセレモニー」が開催

3月28日に KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD オープニングセレモニーが開催されました。

オープニングセレモニーでは寄贈式、藤澤学長からの挨拶、ミズノ株式会社執行役員尾崎様からの挨拶、テープカットセレモニー、始球式が行われました。

本施設では神戸大学とミズノスポーツサービス（株）が協力して、平日昼間は神戸大学の学生・教職員が多目的スポーツ施設として使用し、平日夜間はミズノスポーツサービスが主にフットサルコートとして利用するという、新しいタイムシェアの取り組みによる施設運営を行います。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240411-65233/>)

(5) 国際文化科学研究科が北海道ニセコ町と地域連携協定を締結

神戸大学大学院国際文化科学研究科は3月29日、北海道ニセコ町と包括的な地域連携に関する協定（部局協定）を結び、ニセコ町役場で協定締結式を行いました。同日に同研究科は、一般社団法人サステナビリティ・コーディネーター協会（JaSCA）と産学連携協定を締結。ニセコ町と同協会のあいだでも協定が締結され、3者合同による締結式となりました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240416-65240/>)

(6) 日本学術振興会学術システム研究センターより感謝状が贈呈

2024年3月31日をもって日本学術振興会学術システム研究センターの主任研究員を任期満了された大川剛直神戸大学システム情報学研究科教授（現副学長）、専門研究員を任期満了された杉本幸裕神戸大学農学研究科教授（現名誉教授）の2名に、これまでの貢献に対して同センターから感謝状が贈呈され、藤澤正人学長より、感謝状が手渡されました。



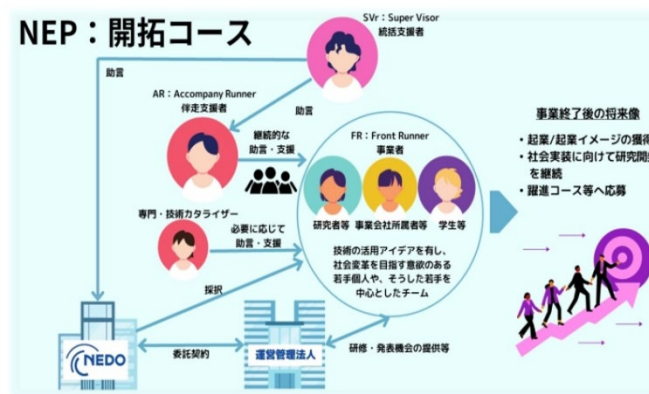
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240416-65245/>)

(7) 神戸大学起業部の学生が NEDO NEP 開拓コースに採択

神戸大学起業部に所属する高橋英眞さん（HIM 代表：農学部2年）が、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）による公募事業「ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業（NEP）／開拓コース」に採択されました。

採択された事業は、NEDO から活動費（月額 25 万円）を受けて、シロアリの特性を利用した環境負荷の低い方法で水素を生産する技術を開発するものです。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2024/0417.html>)

(8) ダッカ大学から訪問

4月18日、バングラデシュ・ダッカ大学の副学長 A.S.M.Maksud Kamal(エー・エス・エム・マクスド・カマル)氏が、藤澤正人学長を訪問しました。

懇談には、本学から玉置久理事・国際連携推進機構長、木村幹国際協力研究科長、小川啓一国際協力研究科教授が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240423-65268/>)

(9) リガ工科大学から訪問

4月22日、ラトビア共和国・リガ工科大学の Tālis Juhna (ターリス・ユフナ) 学長及び Liene Briede (リエネ・ブリエデ) 副学長が、藤澤正人学長を訪問されました。

懇談には、玉置久理事・国際連携推進機構長、花田エバ国際連携推進機構准教授、鈴木広隆工学研究科教授が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240426-65290/>)

(10) 神戸大学 学生広報誌「door」 Vol.01 を発行

神戸大学学生広報誌「door」 Vol.01 を発行しました。以下のサイトで PDF 版を公開していますので、是非ご覧ください。

「door」というタイトルは、開けば新しいなにかに出会える、入り口のような存在となれるように、という思いを込めて名付けました。そして、神戸の「戸」でもあります。

「door」は年2回の発行を計画しており、次回は2024年秋を予定しています。



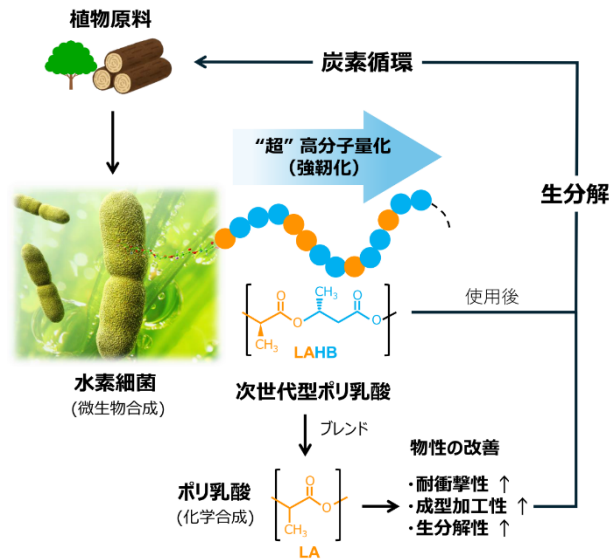
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240426-65289/>)

【3】研究ニュース

(1) “強靱性”と“生分解性”を両立した次世代型ポリ乳酸の大量生産に成功 ～プラスチックごみ問題の解決に期待～

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の田口精一特命教授、高相昊特命助教と産業技術総合研究所と株式会社カネカの共同研究グループは、“強靱性”と“生分解性”を両立する次世代型ポリ乳酸の開発に成功しました。開発したプラスチック材料は、使用時は、“強靱”でありながら、使用後は、海水中でも速やかに“生分解”されるため、地球にやさしい実用的なバイオプラスチック製品の開発に繋げることが期待できます。



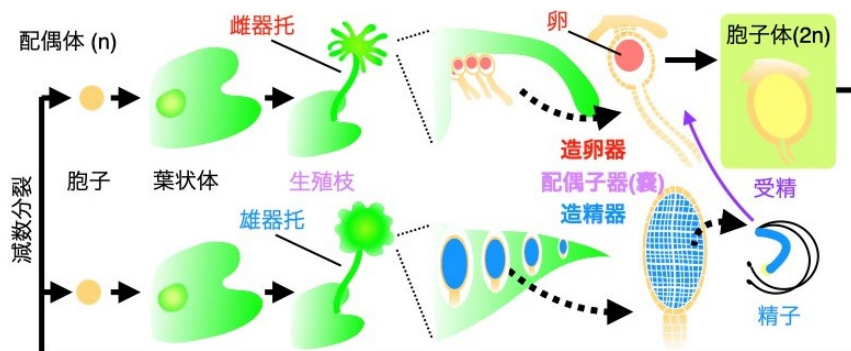
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240402-65194/>)

(2) 植物の有性生殖システムの進化の痕跡を示す鍵因子の発見

見逃されてきた“非典型”転写因子がコケ植物の有性生殖器官の発生を制御する

立命館大学生命科学部の古谷朋之助教（現大阪大学大学院理学研究科准教授）、笠原賢洋教授、大阪大学大学院理学研究科の近藤侑貴教授、京都大学大学院生命科学研究科の山岡尚平准教授、荒木崇教授、河内孝之教授、神戸大学大学院理学研究科の石崎公庸教授、深城英弘教授、基礎生物学研究所の南野尚紀特任助教（現熊本大学先端研究部特任助教）、上田貴志教授らの共同研究チームは、モデルコケ植物ゼニゴケを使って有性生殖器官の発生に関わる因子を探索し、“非典型”BZR/BES 転写因子である MpBZR3 が卵を含む雌の造卵器と精子を生み出す雄の造精器といった有性生殖器官の発生に重要な役割をもつことを明らかにしました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240411-65216/>)

(3) 人社会から自然環境へ薬剤耐性菌が拡散の可能性

～パンデミッククローンが野生動物・水系環境からも分離～

北海道大学大学院獣医学研究院、同 One Health リサーチセンターの佐藤豊孝准教授、札幌医科大学医学部の安田満准教授、高橋聡教授、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の源利文教授、鳥取大学農学部共同獣医学科の原田和記准教授、岐阜大学大学院連合獣医学研究科の浅井鉄夫教授らの研究グループは、人で問題となる薬剤耐性大腸菌株クローンの ST131 が、国内の野生動物（アライグマ、タヌキ、キツネ、シカ）や河川・湖といった水系環境から分離されることを明らかにしました。全ゲノム解析の結果、野生動物や河川・湖から分離された ST131 の一部は人から分離される ST131 と遺伝的な類似度が高いことが分かり、人社会から自然環境への ST131 の拡散が示唆されました。

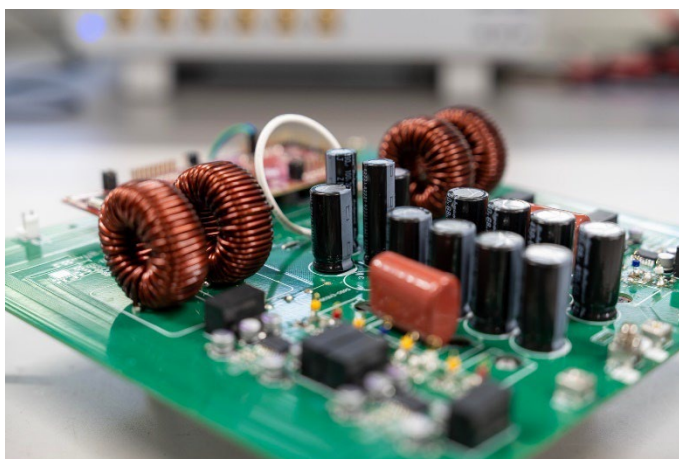


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240416-65246/>)

(4) ワイドな電圧変動にも対応できる超高効率な双方向直流電力変換装置を開発

神戸大学大学院海事科学研究科／水素・未来エネルギー技術研究センターの三島智和准教授らの研究グループは、台湾・国立中興大学の頼慶明教授と共同で広い電圧変動に対応した 98%以上の超高効率双方向直流電力変換器の開発に成功しました。今後、電力・輸送交通・情報通信の分野で普及が進む DC マイクログリッドへ応用が期待されます。



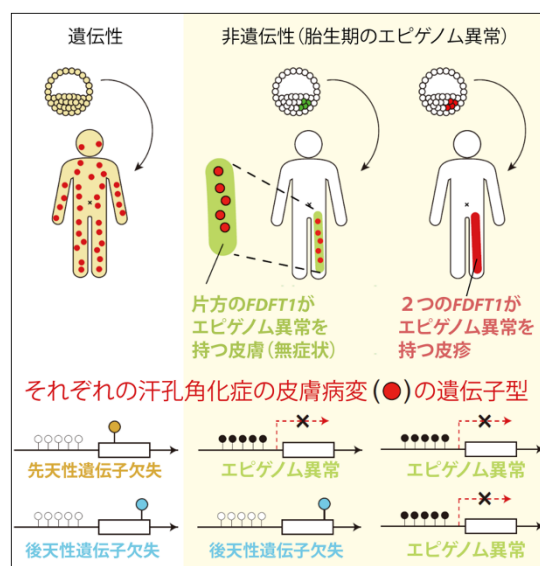
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240417-65251/>)

(5) 皮膚病の要因となるエピゲノム異常を初めて発見

－汗孔角化症の新しい発症メカニズムと原因遺伝子を解明－

神戸大学大学院医学研究科の久保亮治教授、国立成育医療研究センター周産期病態研究部の中林一彦室長、慶應義塾大学医学部皮膚科学教室の齋藤苑子助教／天谷雅行教授らの研究グループは、汗孔角化症の発症メカニズムの解析を通じて、汗孔角化症の新しい原因遺伝子 FDFT1 を発見するとともに、エピゲノム異常という、遺伝子の DNA 配列の変化ではなく、遺伝子の働きのスイッチがオフになる変化が皮膚病の原因となることを初めて発見しました。この発見は、まだ原因が分かっていないさまざまな疾患の原因究明に役立つことが期待されます。研究グループが発見した新しい原因による汗孔角化症は、他の汗孔角化症とは異なり子どもに遺伝しないため、その診断は多くの患者さんの安心につながると期待されます。さらにこのタイプの汗孔角化症にスタチンの外用が効果的であることが分かり、汗孔角化症の新しい治療法開発への道が拓かれました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

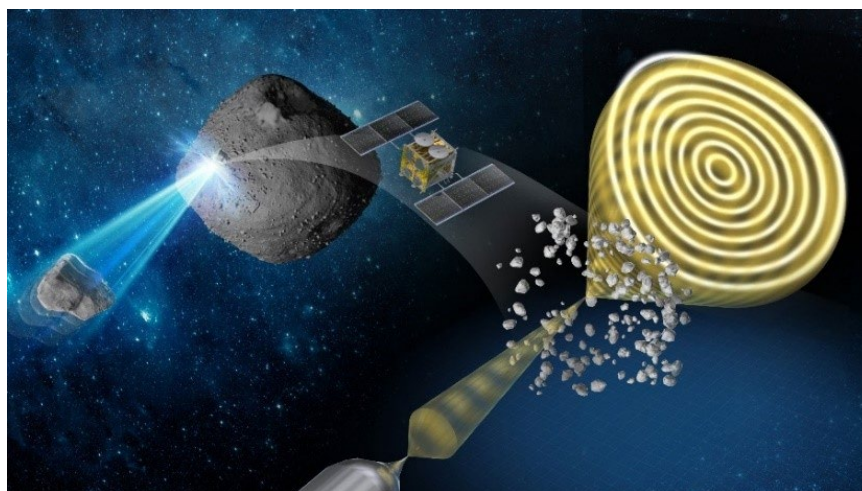
(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240423-65228/>)

(6) リュウグウ試料に初期太陽系の新しい磁気記録媒体を発見

～太陽系磁場の新たな研究手法の確立に期待～

北海道大学低温科学研究所の木村勇氣教授、一般財団法人ファインセラミックスセンターの加藤丈晴主席研究員、穴田智史上級研究員、吉田竜視上級技師、山本和生主席研究員、株式会社日立製作所研究開発グループの谷垣俊明主任研究員、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の黒澤耕介准教授、東北大学大学院理学研究科の中村智樹教授、東京大学理学系研究科の佐藤雅彦助教（現東京理科大学准教授）、橘省吾教授、京都大学大学院理学研究科の野口高明教

授、松本徹特定助教らの研究グループは、探査機「はやぶさ 2」が小惑星リュウグウから回収した試料（砂粒）の表面を、電子線ホログラフィーと呼ばれるナノスケールの磁場を可視化できる電子顕微鏡を用いた手法で調べました。その結果、磁鉄鉱（マグネタイト；Fe₃O₄）粒子が還元して非磁性になった木蓐状の擬似マグネタイトと、それを取り囲むように点在する渦状の磁区構造を持った多数の鉄ナノ粒子からなる新しい組織を発見しました。

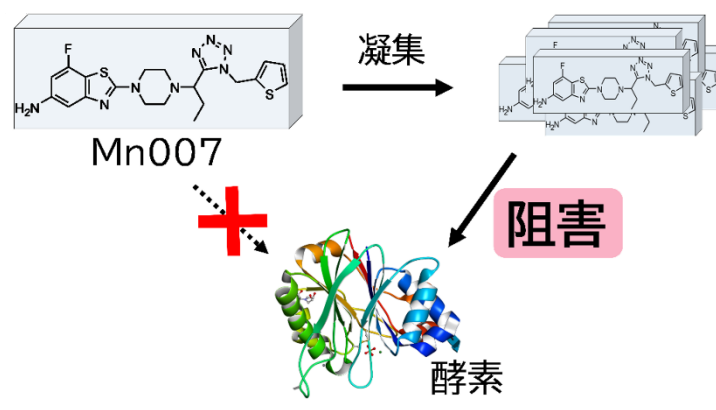


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240429-65287/>)

(7) 分子の「塊」が溶連菌の感染を抑制することを発見

神戸大学大学院工学研究科の森田健太助教・丸山達生教授と、藤田医科大学病院の池田真理子准教授、名古屋市立大学の長谷川忠男教授、藤田医科大学の港雄介教授、神戸大学大学院医学研究科の青井貴之教授の研究グループは、水中で「塊」状に凝集して働く酵素阻害剤を発見しました。この阻害剤は、現在全国的に感染が拡大している溶連菌感染症治療に役立つ可能性があります。今後、この現象を詳細に解明することでこれまでとは全く異なる視点での酵素阻害剤開発および感染症治療への応用が期待されます。

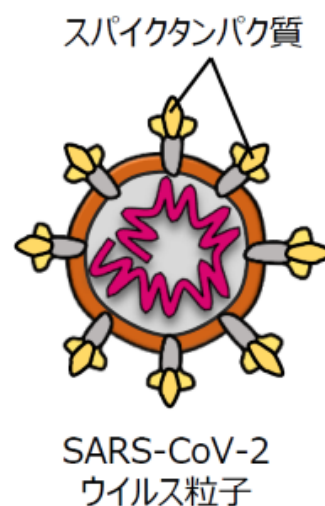


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240430-65286/>)

(8) SARS-CoV-2 の変異株に広く有効な新規中和抗体の発見と抗原エピトープの同定

兵庫県と神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野の森康子教授らの研究グループは、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する新たな中和抗体 MO11 を独自に同定し、原株から最近のオミクロン EG.5.1 株まで広く有効であることを示しました。ウイルスが持つ様々な変異に影響を受けずにウイルスを中和できるメカニズムを解明するために、公益財団法人 高輝度光科学研究センターとの共同研究により MO11 の抗原エピトープをクライオ電子顕微鏡の活用により同定しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240502-65332/>)

【4】受賞・受章

(1) 第4回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 (SDGs 岩佐賞) 受賞 環境の部「里山資源の流通で循環型社会を目指す」

神戸大学名誉教授黒田慶子が代表者を務め、神戸大学大学院農学研究科森林資源学研究室助教東若菜及び修士1年門雅稀、シェアウッズ代表山崎正夫、ひょうご森林林業協同組合連合会松岡達郎、信州大学教育学部教授 井田秀行、(株)山川草木代表取締役香山由人で構成される里山広葉樹活用研究会が取り組む「里山資源の流通で循環型社会を目指す」活動が、第4回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 (SDGs 岩佐賞) を受賞しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240419-65262/>)

(2) 令和6年春の叙勲受章者を発表

瑞宝双光章

橋本 健一 (元神戸大学附属図書館事務部長)

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240507-65333/>)

(3) 令和6年兵庫県功労者表彰を受賞

兵庫県では、県政の伸展、公共の福祉増進に功労のあった方、その他広く県民の模範となった方を、知事が県民を代表して表彰しています。このうち、兵庫県功労者表彰は、22部門で、特に功績顕著な方を表彰しています。

(学術教育功労)

工学研究科 教授 西野 孝

(防災功労)

都市安全研究センター 教授 大石 哲

(環境功労)

内海域環境教育研究センター 特命教授 川井 浩史

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240507-65334/>)

【5】フィーチャー

(1) 新設のシステム情報学部 何を指すか

2025年4月、神戸大学に「システム情報学部」(仮称)が誕生する。AI(人工知能)やデータサイエンス、スーパーコンピューターなどの専門性を土台に、社会課題の解決、新たな価値創造に挑む人材の育成を目指す。教育のキーワードは「総合的な知」。入学直後から専門科目を学び、目的意識をもって教養科目を履修する「反転教養教育」などさまざまな制度を導入する。新学部はどのような未来を見据えているのか。大学院システム情報学研究科長の臼井英之教授に聞きました。

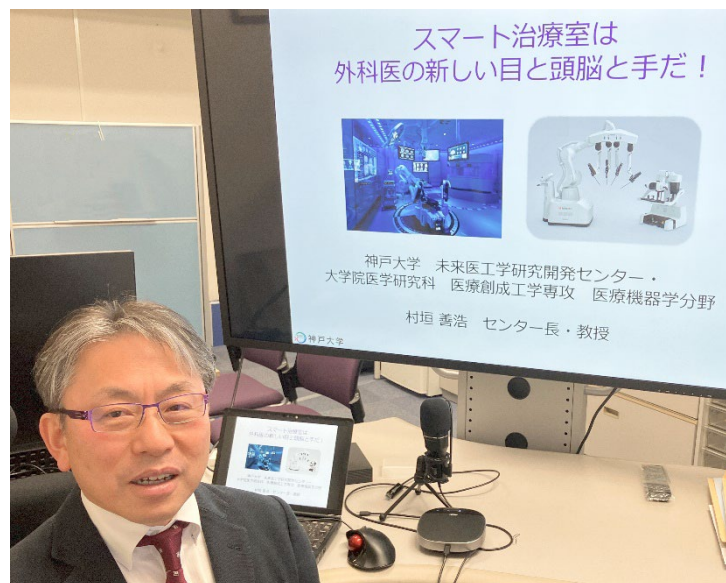


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240402-65189/>)

(2) 新しい医療機器の開発目指す

医学と工学の融合による医療機器開発の教育を専門にする「医療創成工学科（仮称）」が2025年4月に医学部に新設されます。昨年4月に設置された大学院医学研究科の医療創成工学専攻との一貫教育によって、新しい医療機器開発をけん引する人材を育成します。国産初の手術ロボット「ヒノトリ」を産業界と共同開発した経験と知を生かし、産官学の連携による神戸発の先端医療機器の開発も視野に入れています。自らもスマート治療室「SCOT: Smart Cyber Operating Theater（スコット）」など多数の医療機器開発に携わり、新学科の推進役でもある村垣善浩未来医工学研究開発センター教授・センター長に、新学科設置の狙いや教育内容、将来の目標を聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240403-65197/>)

(3) 大学発スタートアップを積極支援

起業教育から資金調達まで

神戸大学は、研究成果から新たな分野の事業を創出する「大学発スタートアップ」の支援に力を入れています。2030年に向けた大学の長期ビジョン「KU VISION 2030」でも、起業教育から資金調達までの一貫したスタートアップ支援を掲げています。「バイオものづくり」など神戸大学が強みとする分野を中心に、さまざまな事業が動き出しています。

今年2月末、神戸商工会議所が神戸・三宮で開催したイベント「神戸大学発スタートアップの魅力とビジネスチャンス」。産官学の関係者が詰めかけ、参加者は神戸大学発スタートアップ5社の発表に熱心に聞き入りました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240422-65264/>)

(4) 五百旗頭真・名誉教授の功績を振り返る

「人が歴史をつくり、歴史が人をつくる」

今年3月に亡くなった五百旗頭真（いおきべ・まこと）神戸大学名誉教授（1943-2024）は、日本政治外交史、日米関係、戦後の占領政策の研究者として、各界に大きな影響を及ぼしました。1995年の阪神・淡路大震災を経験し、東日本大震災後は政府の復興構想会議議長を務めるなど、多くの災害で政府への助言役も果たしました。さらに、防衛大学校長などの要職も歴任。このような幅広い分野でリーダーシップを発揮した背景は何だったのか。五百旗頭氏に長年師

事した大学院法学研究科の簗原俊洋教授（日米関係、国際政治、安全保障）に、
恩師が残した功績、教え子としての思いなどを聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240502-65224/> ）

【6】インタビュー

（1）ダンスの世界で大きな夢に向かって

上橋勘弥さん（国際人間科学部3年）

○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240405-65205/> ）

（2）留学生の就職を支援し、グローバル人材を育成

大学院農学研究科 池村彰子特命講師

○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20240412-65235/> ）

【7】 イベント等情報

(1) 神戸大学人の集い

神戸大学では、本学の現状等についてお知らせするとともに、卒業生同士の交流やネットワークづくり、さらには卒業生の皆様と本学役員等との交流を目的として、毎年「神戸大学人の集い」を開催しております。

世代や分野を越えて、卒業生の皆様が広く集う場ですので、ぜひご参加ください。

2024年6月21日（金）までにお申し込みください。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/alums/gather/>)

(2) その他のイベント情報

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/events/>)

★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。

(<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>)

是非ご登録ください。

★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/>

■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp